

# 2023（令和5）年度 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ 事業計画

（前提）

- ・2023年3月に策定する本事業計画では、新型コロナウイルス感染症の収束傾向に対する、北海道内、日本国内、そして世界全体の様々な社会状況の変化を想定し、withコロナ2年目としての計画立案を行う。
- ・本年度は、新たな(withコロナ)中期事業計画の「初期段階2年目」と位置付け、段階的に計画を実行へ移す。（「新たな(withコロナ)中期事業計画」は別紙参照。）

## I 事業目的及び実施方針

### 1. 事業の目的（定款記載事項）

本法人は難病小児を主たる対象とする自然体験施設の運営に関する事業を行い、難病小児とその家族の「QOL（生活の質）」の向上や、心のケアに寄与することを目的とする。



「キャンプ場内・見晴らしの丘からみた建物群」

### 2. 本年度の事業実施方針

小児医療分野の補完的なサービスを提供する当財団として事業の実施にあたっては、現段階での国内当該分野の感染症対策や自然体験活動に対するニーズを把握した上で、

難病とたたかう子どもと家族に対し、安全で質の高いキャンプが継続的に提供できるよう、「SeriousFun Children's Network（以下SFCNという）」の要求水準に準拠したキャンプの実施および、運営体制の確立、施設・設備の整備を行う。

SeriousFun Children's Network  
故・ポールニューマンが創設した国際キャンプ団体。  
当財団は2016年に正会員として認可された。

また、安定的な財政基盤をつくるため、多様な寄付の枠組みを開発し、支援者数の増加を図るとともに、新たな継続寄付企業・団体の獲得を目指す。

組織運営にあたっては、持続可能な運営体制を構築するため、事業・業務の整理及び人材配置・労務管理の適正化を図る。特に近年は、医療福祉分野に関係する若手人材の不足が課題となっており、その人材獲得のための取り組みを、2,3年をかけて重点的に行うこととする。また組織体制は、中期事業計画にある新たなチャレンジ等に対応できるように、柔軟に変更する。

## Ⅱ 事業内容

### 1. 難病小児等のための自然体験プログラムの企画及び実施（キャンプ事業）

#### ■活動(1):継続

難病とたたかう子どもとその家族を、全国各地から招待してキャンプを実施する。

適正な感染症対策を行うため、1 キャンプ 3 家族ずつの参加を上限とし実施する。

→本年度について宿泊キャンプは年間 5 回、日帰りキャンプは年間 1 回を計画する。

（前年度は 1 家族ずつ、宿泊 5 回、日帰り 5 回のキャンプを実施。）

#### ○小児科医が同行する宿泊ファミリーキャンプ

（レスパイトキャンプ）

→計 4 回（夏季）、12 家族参加予定

協力小児科医が同行する 3 泊 4 日のレスパイト

（一時的休息）キャンプを企画、準備、実施する。

（本年度は、国立がん研究センター、聖路加国際病院、国立国際医療研究センター他へ相談予定）



「キャンプ場内お散歩(前年度)」

#### ○きょうだい児のみが参加する宿泊キャンプ

→計 1 回（冬季）、10 名参加予定

難病の子どものきょうだい児が参加する

3 泊 4 日のキャンプを企画、準備、実施する。

（本年度は、栃木レスパイト施設へ相談予定）



「家族で日向ぼっこ(前年度)」

#### ○日帰りファミリーキャンプ（セラピー乗馬中心）

→計 1 回（夏季）、3 家族参加予定

特に滝川近郊や、札幌・旭川圏を対象とし、協力病院・施設を通じて利用者への呼びかけを行う。

（本年度は、北海道難病連他へ相談予定）



「冬の森たんけん(前年度)」

なお、今後の展開を想定し、キャンプの年間実施回数や各キャンプの参加人数を増やした場合の適正な実施体制や運営手法の検討もあわせて行う。



「馬とのふれあい(前年度)」

## ■活動(2):継続

キャンプが安全に運営できるようにソフト・ハード面でサポート体制を充実させる。

### ○医療・食事支援体制等の充実

- ・キャンプ実施期間中、医療棟(ほけんしつ)を拠点とし医療支援を行うとともに、キャンプ前後の保護者・主治医へのヒアリング等、きめ細かなキャンパーフォローを実施する。
- ・今後のキャンプ回数増加等に対応するため、医療機関との連携強化に加え、継続的に医療スタッフ、ボランティアの発掘・育成を行う。
- ・キャンプ中の食事を安全に継続的に提供できるよう厨房の設備や運営体制の充実を図る。
- ・継続的に食事ボランティアの募集・実践研修を行うとともに、学生インターン募集を再開する。  
(本年度、宿泊・食事を伴うキャンプは、計5回。)



「流動食などにも対応する食事提供」

### ○キャンププログラムの充実

安全かつ楽しいキャンププログラムの提供を行うとともに、馬アクティビティや、森あそび、雪あそび等、プログラムの充実に必要な施設・道具の整備を行う。

- ・夏季キャンプの中核プログラム、馬アクティビティの実施のため「北海道障がい者乗馬センター」の協力を得て、対象となるキャンプごとに、調教されたセラピー馬及び障がい者乗馬インストラクターを配置する。また馬アクティビティ(特に飼育管理等)を運営するため、当財団側の馬スタッフ、ボランティアの充実を図る。
- ・森あそびを充実させるため、ツリーハウス周辺のプログラム関連施設・設備の継続的な追加整備・補修を行い、またツリーハウス内のアクティビティ内容(お茶会等)の充実を図る。(ジップラインや展望デッキ、アプローチ園路、敷地北西部の森の整備等)
- ・再開した冬キャンプにおける、雪あそびのための必要な施設、設備、道具を充実させる。



「車いすのまま行けるツリーハウス(地上8m)」



「場内ゲレンデでのシットスキー」



「馬房での飼育管理作業への参加」

## ○キャンプ場（建物・草地・森）の維持管理及び整備

安全で快適なキャンプ提供のための施設維持管理を推進するとともに、施設および設備の効率的な管理等を徹底し管理コストの軽減を進める。また必要な施設等の整備を行う。

- ・主要施設群「食堂&浴室棟」「宿泊棟2棟」「医療棟（ほけんしつ）」「事務棟」「ゲストハウス」「倉庫棟2棟」「大あずまや」を管理するとともに、車いすで行けるツリーハウスや関連施設、森・草地の維持管理を実施する。（今年度は、ツリーハウスの吊橋改良等を実施する。）



「建物群と森林・草地(16ha)」

- ・浄化槽等の設備管理、草刈り、除雪等の屋外管理、施設清掃等については外部委託を拡大するとともに、維持管理ボランティア（地元支援団体・企業等）も可能な範囲で積極的に活用することにより、人件費等のコスト軽減を図る。なお、維持管理の外部委託について、可能な範囲で、福祉対象者の就労につながるよう、地元福祉団体への委託を検討する。
- ・施設利用者が安全で快適に過ごせるよう、建築、設備、土木等軽微な改修・整備を行う。

（別紙「平面図」等参照）

- ・中長期的な施設及び設備の改修・修繕計画を策定し、計画的に改修・修繕費の積立を行う。本年度は、計画の一環としてゲート周辺の改良、受水槽棟の改良、馬場アプローチ園路の改良、ツリーハウス吊橋の改良、除雪機の更新等を行う。



「車いすのまま行けるツリーハウス(吊橋付)」

## ○ボランティア募集・調整

- ・コロナ禍をきっかけにボランティア登録制度や宿泊研修会を一旦廃止し、現状にあった新しい仕組み（SNS フォローや広報イベントとしての体験ツアー等）を試行し中期的に構築する方針。
- ・キャンプ場の維持管理作業については、有償スタッフ以外の多数の人的支援が必要となる場面が多いため、企業・団体単位でのボランティア活動の受け入れを積極的に行うこととする。
- ・学生等のインターン（無償・有償）については、人数や時期を限定し、必要に応じて受け入れを行う。（正職員採用をする際にはキャンプ場等でのインターン経験を必須条件とする。）



「連携大学による維持管理ボランティア」

### ■活動(3):新規

難病の子どもたちが過ごす、全国各地の病院(病室)や自宅に「楽しみ」を届ける。

病院や自宅での闘病生活へ、以下の自然体験に関連した「楽しみ(良い刺激)」を届ける。

(届け先:全国の協力病院や福祉施設、在宅闘病中の子どもの自宅ほか)

#### ○スノーギフト

キャンプ場に積もった雪を専用のスノーボックスに詰め、冷凍空輸にて、雪が積もらない地域の病院や施設に贈る。雪運び協力:小野薬品工業

(20病院70箱予定)



「スノーギフト(キャンプ場→病院)」

#### ○自然体験VR映像

キャンプ場で撮影した自然体験VR映像(夏・冬)の上映会を、病院で開催してもらうため、専用機器を1ヶ月単位で貸し出す。プロジェクター映写(出力)ができるので、病院のプレイルームなどでの上映、親子での体験も可能。(計2病院)  
制作協力:フジテレビジョンCSRチーム他

※VR(Virtual Reality)とは疑似体験できる映像技術のこと



「自然体験VR映像」

#### ○キャンプ用品ギフト(水耕栽培チャレンジ)

闘病生活において、自然やキャンプの雰囲気を感じてもらうため、水耕栽培チャレンジをした子どもたち(きょうだい含む)へ、キャンプ用品をプレゼントする。協力:コールマン(計30名予定)



「水耕栽培チャレンジ→キャンプ用品ギフト」

#### ○キャンプ場ライブ配信

病院(入院中の子どもたち)とキャンプ場を、インターネット回線をつなぎ、映像や音声をリアルタイムに届けることで、会話のキャッチボールをしながら、北海道の自然を感じてもらおう。(計2回予定)  
短期では年数回のイベント的な開催(平日)だが、中期的には平日定例的開催とし、院内学級Web課外授業としての位置付けを目指す。(キャンプ場のオフシーズンや平日活用の取り組みとして)



「キャンプ場ライブ配信(スノーギフト同時実施版)」

■活動(4):継続(一部新規)

元キャンパーたちへ、医療ケア付キャンプ場としての応援メッセージを送り続ける。

○クリスマスカード他の送付

これまで、過去にキャンプへ参加したことのある、元キャンパー(家族含む)に対し、キャンプでの思い出・つながりが、その後の生活に良い影響を与えることを期待し、様々な形でのフォローアップを継続する。1つの具体的な形として、毎年すべての元キャンパーに、クリスマスカード、ギフトを贈る。(約400名に送付予定)



「元キャンパーとの手紙のやりとり」

○インターン(就労体験)の機会提供

免疫が低いことなどで、行動に制限がある元キャンパー(成人)に対し、積極的にキャンプ場でインターンとして受け入れ、就労体験の機会を提供する。(計2名予定)



「元キャンパーのインターン」

これまでの参加者 1,180名 (2005~2021年度)



子どもの感想

病気でも、キャンプに行けてみんなと遊べて楽しいこともあるんだ。

こんなに楽しいことがあったら、この先変わるんじゃないかなと思う。

家に帰っても、一週間くらいキャンプのことしゃべらなかつた。もったいない気がして。

再発して、再入院して、いやだったけど、またそらぶち行けるのかなあ。

一人じゃないんだ仲間がいるんだと初めて感じることができた。

親の感想

こんなに楽しい日が来るとは、数年前には想像もしていなかった。これまで家族みんなで頑張ってきた良かった。

病児、きょうだい、両親、一緒に楽しめたので、家族同士のいろいろな表情を発見できた。あらためて「家族一緒」が一番楽しいと感じた。

普段の生活に制限がある中で大自然で過ごしたキャンプは羽ばたいたような気持ちだった。

私たち家族にとってこのキャンプ地は、新しい生活のスタートになった。



※アニュアルレポート抜粋

## 2. 難病小児等のための自然体験活動に関する啓発・普及（広報 PR・ファンディング）

### (1) 広報イベント・PR活動の実施

※別紙「年間スケジュール参照」

#### ○キャンプ場一般公開イベント

医療ケア付キャンプ場を、個人で見学できる機会として一般公開イベントを実施する。併せて、そらぶち支援団体への感謝状贈呈式も開催する。

（計2日間来場者200名予定）



「キャンプ場一般公開イベント」

#### ○写真展の開催

キャンプ中の子どもや家族の様子を伝えるため写真展を開催（協力：写真家・小西貴士氏）本年度は、モンベル店舗（東京・奈良）約2週間ずつ開催を予定。

→各箇所1回ずつ小西氏のトークショーを予定



「キャンプの様子を伝える写真展」

#### ○キャンプ場見学の受け入れ、全国各地でのPR講演他

企業団体単位のキャンプ場見学の受け入れや全国各地でPRのための講演等を行う。

### (2) インターネットによる広報活動

#### ○ホームページ

スマートフォン閲覧、SNS連動の改善、英語版の充実、クレジットカード及び電子マネー決済の対応、リアル事業等と連動などリニューアルの段取りを進める。



「WEB チャリティオークション」

#### ○Facebook、YouTube、Instagram 他

リアル事業やホームページ、SNS間での連動強化。

#### ○WEB チャリティオークション他

付加価値のあるグッズ寄贈を受け、WEB上で寄付投票を行う。→8月ドラッグストアショーで試行予定



「アニュアルパンフレット他」

### (3) 広報ツールの充実

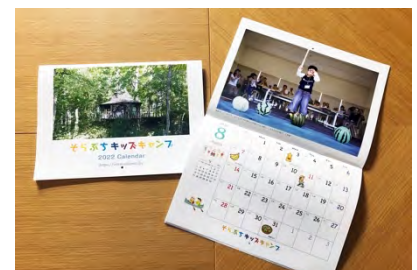
#### ○資料 →アニュアルパンフレット、振込用紙付リーフレット 他

#### ○映像 →プロモーション映像、TV録画映像ほか

#### ○オリジナルグッズ（写真カレンダー他）

→イベント等で喜ばれるグッズを作成し配布予定。

（チャリティマラソン関係はタオル等を予定）



「キャンプ写真カレンダー」

#### (4) マスメディアへの露出

キャンパー及び家族の心情に配慮しつつ、知名度を上げるため、テレビや新聞（近年はWeb版も各社あり）、雑誌等マスメディアへの積極的な露出を図る。



「HTB テレビ放送+Web版(前年度)」

#### (5) 企業・団体への支援依頼活動

##### ○賛助会員、寄付(継続)依頼 他

活動への賛同表明の形の1つとして、資金面での継続支援を依頼する。

##### ○寄付つき応援キャンペーン

自社商品の売上に応じて寄付をするなど、企業活動に関連した継続支援を依頼する。

##### 「ドラッグストア業界の支援事例」

メーカー名	対象応援商品	ドラッグストア名等
ユニ・チャーム	オムツ	マルエドラッグ、どらっぐばばす、サツドラ
神戸屋	食パン	キリン堂
アサヒ飲料	レモネード飲料他	
キリンビバレッジ	炭酸飲料、ジュース	北海道内の主要量販店
山崎製パン札幌工場	ランチパック ※一部	
山崎製パン	菓子パン他	ウエルシアグループ
クラシエグループ	全商品	マルエドラッグ、サツドラ
王子ネピア	箱ティッシュ ※一部	サツドラ
ロート製薬	目薬 ※一部	
サッポロビール & ポッカサッポロ北海道	全商品	
コアレックス道栄	トイレトペーパー他	
テンフードサービス	ジンギスカン	サツドラ、コープさっぽろ
黒ばら本舗	つばき油	
玉川衛材	マスク	多数のドラッグストア他
オムロンヘルスケア	体温計 ※一部	多数のドラッグストア他

※ウエルシアグループでは、多種の店頭商品を対象とし応援キャンペーンを実施

##### 「その他の支援事例」

- ・自動販売機、ランタン、会員カード、農産品、ミネラルウォーター、灯油、ジム利用 他

##### ○支援者イベントでのブース出展等 PR

- 8月 JAPAN ドラッグストアショー@東京
- 9月 サツドラ FES@札幌
- 10月 東京マラソン (ハーフ) イベント@東京
- 3月 東京マラソン (フル) イベント@東京 他

(別紙事業スケジュール参照)



「イベント展示ブース出展でのPR」



## ○店頭募金箱設置協力依頼

日本チェーンドラッグストア協会 (JACDS)を通じて協力依頼を行い全国のドラッグストアに募金箱を設置。(2008年～現在、2億円を超える募金が集まった)

→各種銀行の手数料の新設・増額が課題

(協定書の締結等により課題解決の方策を提案予定)

→キャッシュレス募金の併用を調整中(PayPay 他)



「店頭募金箱」



「店頭募金箱用シール」



「店頭募金箱用ポスター」

## (6)個人への支援依頼活動

- ・ SNS 他での情報発信を行いながら、個人の関心層（ファン他）を増やす。
- ・ 支援企業が実施する寄付つき応援キャンペーンへの参加を依頼。(SNS 他を通じて)
- ・ 活動趣旨に賛同を得た段階で、各種チャリティグッズ購入依頼を行うとともに、応援会員、寄付(継続)など資金協力の依頼を行う。

## (7)若手医療福祉従事者を対象とした広報 PR 活動

事業実施方針で掲げた「医療福祉分野に関係する若手人材の不足」に対する課題解決の一步として、昨年度、当該分野に実績のある専門団体と意見交換し、特別な広報戦略として次の4つの基本方針を整理した。①既存スタッフの業務内容整理とブランディング、②採用 Web サイトの立ち上げ・PR 冊子の作成、③体験ツアー等の開催、④戦略的メディア活用。本年度は、引き続き専門団体に協力を仰ぎ、上記方針の「新たな広報プロジェクト」を段階的にかつ確実に推進する。

## 3. 難病小児等のための自然体験活動に関する調査及び研究（調査研究事業）

キャンプ体験の効果については、キャンプ後アンケートや保護者及び主治医へのヒアリングを通じ、継続的に記録収集を行い、将来的には、上記調査研究等について学会発表ができるよう準備を進める。

#### 4. 「SeriousFun Children's Network (SFCN)」との連携の強化

SFCN との連携強化のため、正会員に求められるキャンプ運営上の様々な基準に対応するとともに、SFCN 理事会及び担当スタッフミーティング等への WEB 参加などにより各種情報交換を行う。特に、本年度は新型コロナウイルス (Covid-19) に関係する、世界各地のキャンプ事情について積極的に情報交換を行い、当財団のキャンプ運営の参考にする。

#### 「SeriousFun Children's Network(SFCN)」 ※アニュアルレポート抜粋

- シリアスファンは、ハリウッド俳優、故・ポールニューマン氏が米国に創設した、難病の子どもと家族のための医療ケア付キャンプの世界的なネットワークであり、そらぶちは、アジア (中東を除く) 初の公認キャンプ場となります。シリアスファンでは、定期的な現地審査と書類審査により、世界基準の安全性とサービスの質の認定を行っており、そらぶちは、2016年11月より正会員として加盟しています。
- シリアスファンとして、アメリカ (米国)、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界中で、16カ所の公認キャンプ場の運営と多数のキャンププログラムの提供を行っており、これまで50以上の国々から130万人を超える、難病の子どもと家族を無料でキャンプに招待しています。



キャンパーたちと  
故・ポールニューマン氏 (中央)

#### シリアスファン公認キャンプ場・所在地 (16カ所)

米国フロリダ  
米国ニューヨーク  
米国オハイオ  
米国コネチカット  
米国ワシントン  
米国ミシガン  
米国カリフォルニア  
米国コロラド  
米国ノースカロライナ  
アイルランド  
ハンガリー  
イタリア  
イスラエル  
フランス  
イギリス  
日本 (そらぶち)



#### シリアスファンチルドレンズネットワーク



フルメンバー、プロビジュアルメンバー  
(専用建物を持つキャンプ)



グローバル・パートナーシッププログラム  
(建物を持たずプログラムを行うキャンプ)

#### 「SFCN 2022 年度助成金 (実績)」

寄付財源	米ドル	備考
Alexion	12,500	希少難病への薬品開発会社
Krispy Krime	10,000	グローバルドーナツチェーン
Newman`s Own Foundation	47,500	ポールニューマン創設のニューマンズオウン会社の財団
Takeda	45,573	武田薬品工業 4年目/5年 製薬会社シャイアー(Shire)を合併
Abercrombie & Fitch	22,000	グローバルアパレルメーカー A&Fチャレンジ マッチング助成金
SeriousFun Children's Network	75,000	シリアスファン本部
2022年度合計	212,573	

■2023年度 事業スケジュール

	キャンプ他	馬関係	広報PR他	総務関係	
4月			4/14(金)～16(日)日本小児科学会へのPR参加 4/19(水)～21(金)MDRT日本大会@福岡でのPR	決算作業↓ ←4/20(木)滝川IRC卓話@三浦H	4月
5月	5/26(金)～29(月)レスパイトキャンプ(2,3家族) ※馬トレ	馬滞在		<b>監事監査</b> <b>5/24(水)理事会(決算)</b> (菜の花イベント週間@滝川)	5月
6月	6/10(土)モニターキャンプ(日帰り2,3家族) ※馬トレ	馬滞在	6/1(木)サツドラはとの会@札幌でのPR ←JACDS会長他視察→	<b>6/10(土)評議員会(決算)</b>	6月
7月	(↓水耕栽培・キャンプ用品ギフト) 7/28(金)～31(月)レスパイトキャンプ(2,3家族)	馬滞在	←院内学級Web課外授業(夏)		7月
8月	(お盆休み)		↓そらぶちWEBチャリティオークション企画あり↓ 8/18(金)～20(日)ドラッグストアショー出展@東京 8/27(日)北海道マラソン2023@札幌←チャリティランナーあり	←8/18(金)寄付受領(細谷D)	8月
9月	9/8(金)～11(月)レスパイトキャンプ(2,3家族) ※馬トレーニング	馬滞在 馬滞在	9/16(土),17(日)サツドラFES・PR参加@札幌 滝川IRC移動例会@キャンプ場 9/29(金)9/30(土)10/1(日)日本小児がん学会@札幌	←小児がん学会そらぶち見学ツアー	9月
10月	10/7(土),8(日)キャンプ場一般公開イベント (←10/7(土)PM感謝状贈呈式) 10/20(金)～23(月)レスパイトキャンプ(2,3家族)	馬滞在	10/15(日)東京マラソンハーフ←チャリティランナー(事前受付10/13,14)	←当日ゴール後ラウンジでのPR	10月
11月	(11/23(木祝)トークショー →		11/16(木)チャリティ農産品発送 (箱詰め発送) 11/17(金)準備→ 11/18(土)～26(日)写真展@モンベル御徒町	2024カレンダー・アニュアル パンフレット発送作業	11月
12月	クリスマスカード他送付 (12/9(土)トークショー →		→27(月)撤収 12/1(金)準備→ 12/2(土)～10(日)写真展@モンベル奈良 →11(月)撤収		12月
1月	スノーギフト発送作業①		←院内学級Web課外授業(冬)	予算編成作業↓	1月
2月	スノーギフト発送作業② 2/10(土)～12(月祝) きょうだいキャンプ			(さっぼろ雪まつり)	2月
3月			2/29(木),3/1(金),2(土)受付会場PR→ 3/3(日)東京マラソン2024←チャリティランナーあり	<b>理事会(補正予算、翌年度予算)</b>	3月

# コロナ禍における事業報告 及び 新たな (with コロナ) 中期事業計画

前年に続きコロナ禍における対応が求められた2021年度においては、感染症対策を徹底の上、これからの“with コロナ”を見据え、以下の活動を試行しました。キャンプ事業としては、同居する1家族を対象とし、宿泊、日帰りあわせて計8回のキャンプを開催しました。

## 基本方針

- ・国際的な議論によりバージョンアップした医療ケア付キャンプ場の感染症対策を遵守し、活動を行う。
- ・宿泊・食事を伴うキャンプなど制限・縮小していた既存の活動を、徐々に元へ戻し、さらに発展させる。
- ・コロナ禍の状況において、検討・試行した新規の活動について、本格的に活動を開始する。

### 活動① (継続) 難病とたたかう子どもとその家族を、全国各地から招待してキャンプを実施する。

：感染症対策を徹底しながら、年間実施回数、各キャンプの参加人数を徐々に元に戻し、そして増やしていく。

#### 「実施をするキャンプの種類」

- 主治医が同行するレスパイトキャンプ (3泊4日)
- セラピー馬アクティビティ中心の日帰りデイキャンプ (ファミリーキャンプ)



家族で見晴らしの丘へ登山



車いすユーザーのセラピー乗馬



車いすユーザーのチェアスキー

### 活動② (継続) キャンプが安全に運営できるようソフト・ハード面でサポート体制を充実させる。

#### 「ソフト面での対応/人的サポート」

- 感染症対策を徹底し、企業・団体のボランティア活動の受け入れを開始する。

#### 「ハード面での対応/施設・設備のサポート」

- 既存施設の修繕・改修や、森の維持管理を行うとともに、開放的な半屋外施設 (クラフト棟や球技場) 他、キャンププログラムを更に充実させるための施設整備等を行う。



吊り橋付ツリーハウスの定期改修



団体ボランティアによる維持管理作業

### 活動③ (新規) リネン洗濯等を、福祉就労団体へ積極的に業務委託する。

- リネン洗濯や施設清掃等の作業を、福祉就労団体へ積極的に業務委託することで、地元に住む福祉対象者の仕事を生み出すことにつなげる。

### 活動④ (新規) 難病の子どもたちが過ごす、全国各地の病院 (病室) や自宅に「楽しみ」を届ける。

#### 「スノーギフトを贈る」

- 雪の積もらない地域にある病院等へ、キャンプ場に積もった雪を専用のスノーボックスに詰め、冷凍空輸で贈る。

#### 「VR映像の上映会を開催する」 ※VR (Virtual Reality) とは疑似体験できる映像技術のこと

- 全国の小児病院等において、キャンプ場で撮影した夏・冬の自然体験VR映像の上映会を実施する。

#### 「キャンプ用品を贈る」

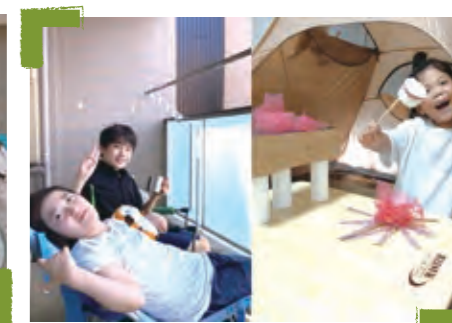
- 全国各地の難病の子どもたちに、キャンプ用品をプレゼントし、闘病生活において安全にキャンプの雰囲気を楽しんでもらう。



小児病棟での雪だるま作り



自然体験VR映像上映会 (試行)



自宅や病室でキャンプ気分

### 活動⑤ (継続) 難病の子どもと家族の現状や、キャンプでの支援の必要性を、広く社会に発信する。

#### 「広報PR イベントの実施」

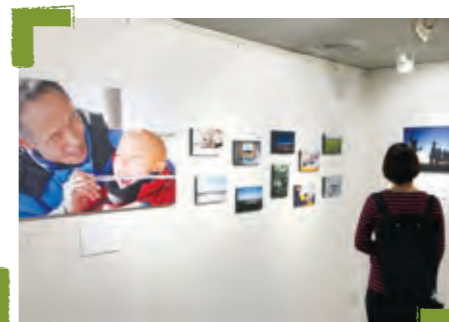
- キャンプ場一般公開イベント (5月、10月)、大都市部 (東京、大阪、札幌他) での写真展を開催する。

#### 「インターネットによる広報活動」

- ホームページ、Facebook、YouTube、Instagram他での情報発信を強化するとともに、バーチャルとリアルを効果的に融合させ、VR映像での施設案内や、チャリティオークション等を実施する。



一般公開でのキャンプ場内見学



キャンプの様子を伝える写真展



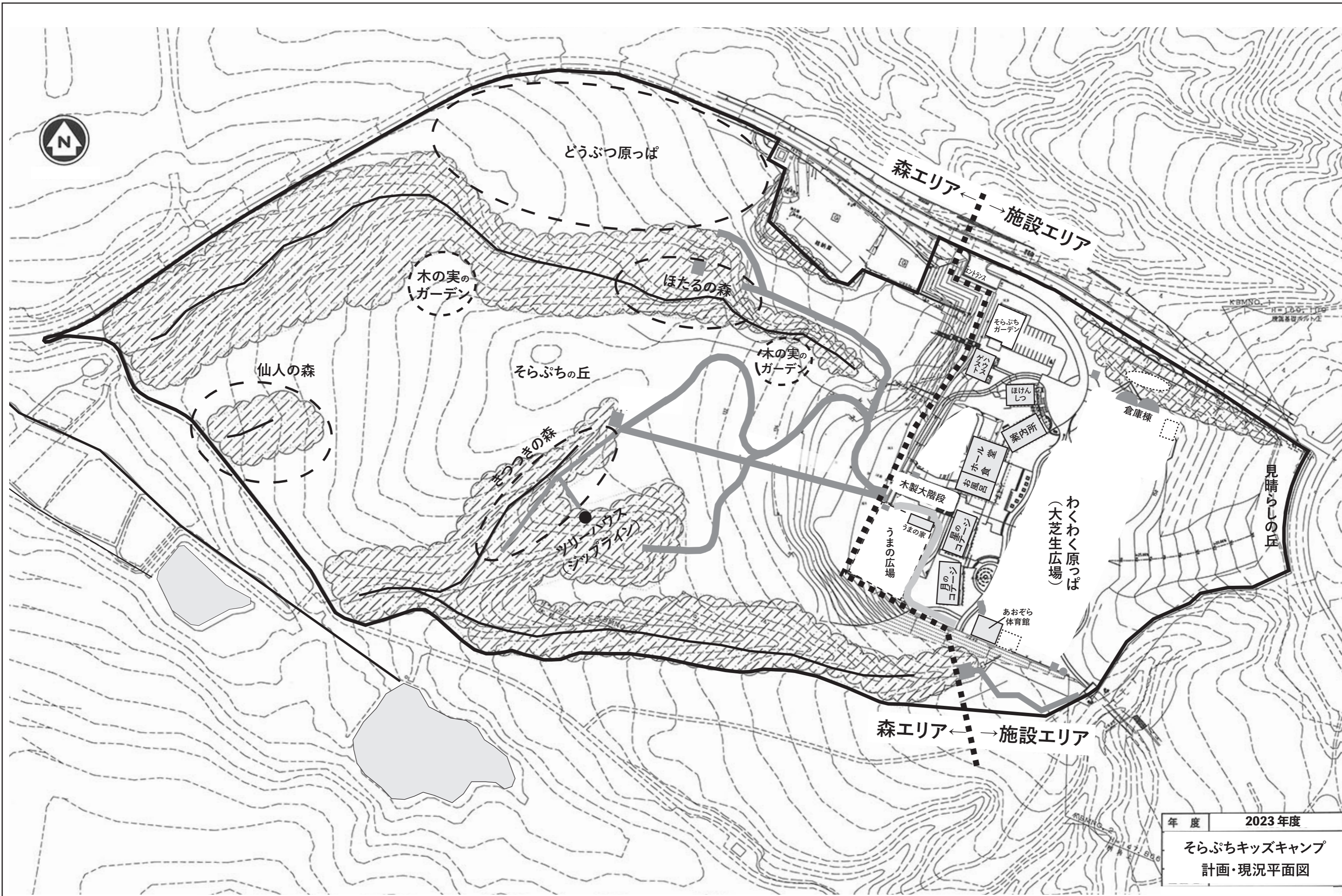
YouTubeでのVR施設案内

### 活動⑥ (新規) 元キャンパーや難病児支援に関心のある大学生に就労機会 (インターン) を提供する。

- 免疫が低いことなどで、行動に制限がある元キャンパーに対し、積極的にキャンプ場でインターンとして受け入れ、就労体験の機会を提供する。
- 難病児支援の分野を人材の面でも発展させるため、この分野に関心のある大学生を積極的にキャンプ場でインターンとして雇用する。



2021年度より元キャンパーが就労チャレンジ



年度	2023年度
そらぶちキッズキャンプ 計画・現況平面図	